

《日商簿記2級》 —工業簿記—

3. 材料費・労務費・経費の一連の流れ

～工業簿記の勘定連絡図を抑えよう!～



ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



材料費・労務費・経費の一連の流れ

～材料費・労務費・経費の仕訳～

<材料費について>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiirroha.com>



材料費・労務費・経費の一連の流れ

○用語○
()…購入する材料そのものの本体価格
()…購入する材料の実際の購入金額

- ・材料は、製品を製造するためのモノであり、その材料を消費したときに発生する原価を材料費という。
- ・材料を購入したときは、材料勘定を「借方」に記入する。購入手数料や引取運賃などの()がある場合、購入代価(材料そのものの金額)に含めた処理を行う。

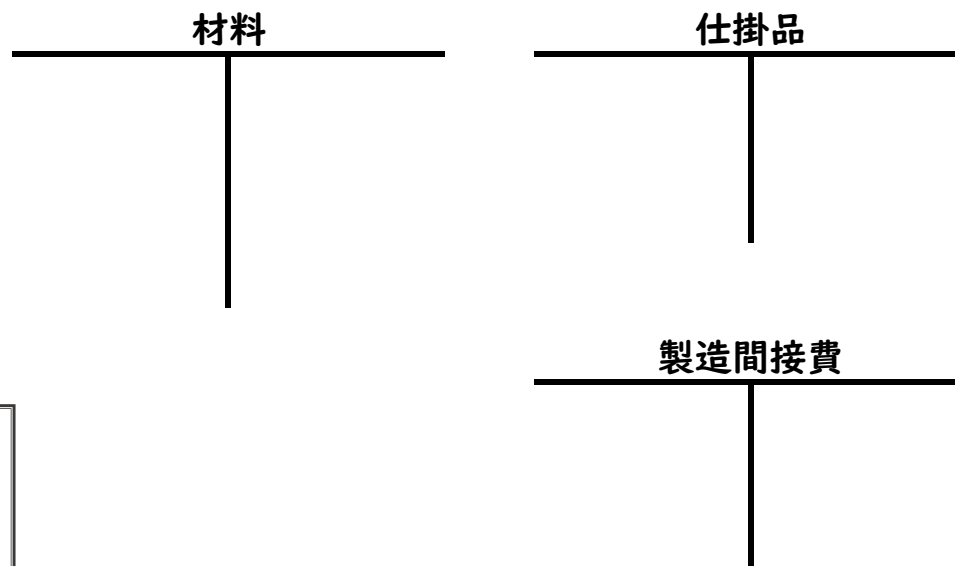
購入に欠かせない手数料

- 例1. 材料900円を掛で購入した。なお、その際の引取運賃300円は現金で支払った。
例2. 購入した材料を直接材料費として800円、間接材料費として200円消費した。



1.

2.



○ポイント○
ある製品にいくら使ったかが明確な場合(製造直接費)→仕掛品勘定
ある製品にいくら使ったかが明確ではない原価→製造間接費勘定

材料費・労務費・経費の一連の流れ

～材料費・労務費・経費の仕訳～ <労務費について>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



材料費・労務費・経費の一連の流れ

・労務費は、製品を製造するためにかかる（工場の従業員の）人件費であり、労働力を消費した時に発生する原価をいう。

例1. 貸金1,800円から預り金300円を差し引き、残額は現金で支払った。

例2. 貸金のうち直接労務費として1,300円、間接労務費として500円消費した。



1.

2.

貸金

仕掛品

製造間接費

○ポイント○

ある製品にいくら使ったかが明確な場合（製造直接費）→仕掛品勘定

ある製品にいくら使ったかが明確ではない原価→製造間接費勘定

材料費・労務費・経費の一連の流れ

～材料費・労務費・経費の仕訳～ <経費について>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



材料費・労務費・経費の一連の流れ

・経費は、製品を製造するためにかかる材料費・労務費以外の製造原価をいう。

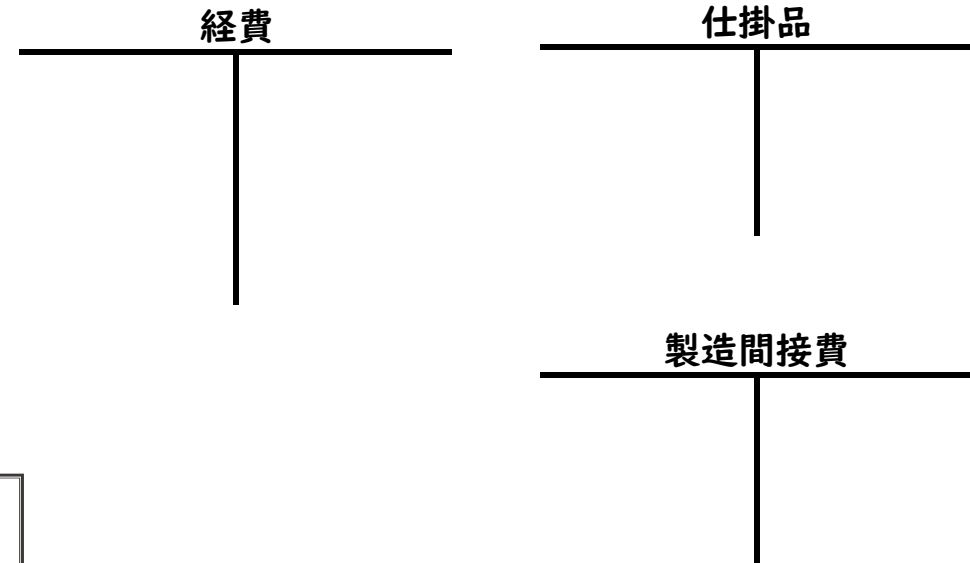
例1. 経費1,400円を現金で支払った。

例2. 経費のうち直接経費として400円、間接経費として1,000円消費した。



1.

2.



○ポイント○

ある製品にいくら使ったかが明確な場合(製造直接費)→仕掛品勘定

ある製品にいくら使ったかが明確ではない原価→製造間接費勘定

材料費・労務費・経費の一連の流れ

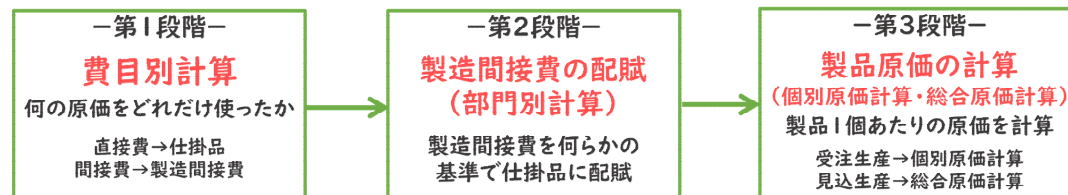
～工業簿記の勘定連絡図～ <工業簿記の勘定の流れを把握しよう>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokiiroha.com>



材料費・労務費・経費の一連の流れ

<工業簿記の勘定連絡図> ～個別原価計算の場合～



材料

購入額	直接材料費
	間接材料費

賃金

支払額	直接労務費
	間接労務費

経費

発生額	直接経費
	間接経費

仕掛品

直接材料費	完成
直接労務費	
直接経費	
製造間接費	未完成

製造間接費

間接材料費	仕掛品
間接労務費	
間接経費	

製品

完成	販売
----	----

売上原価

販売

材料費・労務費・経費の一連の流れ

—問題解説—

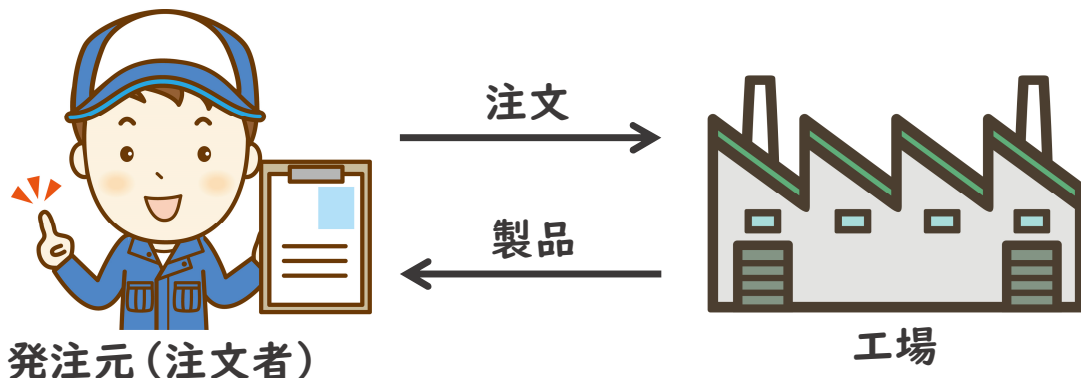
<個別原価計算における一連の流れ>

ミッチ「ボキいろは」 <https://bokihiroha.com>



材料費・労務費・経費の一連の流れ

<製造指図書と原価計算表について>



○用語○

- ()…注文内容や納期などが記載された製造命令書
- ()…製造指図書をもとに原価を集計するための表

製造指図書 No.001				製造指図書 No.002			
受注先	イロハ製作所			受注先	イロハ製作所		
受注日	納期			受注日	納期		
**年 **月 **日	**年 **月 **日			**年 **月 **日	**年 **月 **日		
品名	型番	数量	備考	品名	型番	数量	備考
製品X	X-1	100個		製品Y	Y-1	30個	

原価計算表 (単位:円)

	製品X	製品Y	合計
直接材料費	1,000	500	1,500
直接労務費	800	400	1,200
直接経費	600	300	900
製造間接費	400	200	600
合計	2,800	1,400	4,200
備考	完成	未完成	

工業簿記の基礎

原価計算の手続き

<第3段階…製品原価の計算方法について>

- ・製品原価の計算方法は、製品の生産形態の違いにより、(個別原価計算)と(総合原価計算)の2つの方法がある。
- ・(個別原価計算)は、いわゆる「オーダーメイド」で、受注生産で製品の製造を行う業種(建設業・造船業など)で用いられる計算方法である。
- ・(総合原価計算)は、見込み生産で同じ規格の製品を大量に生産する業種(衣料品製造業など)で用いられる計算方法である。



材料費・労務費・経費の一連の流れ

問題

下記取引の仕訳を行い、勘定への転記を行いなさい。
なお、原価計算表の作成まで行うこと。

[取引事項]

1. 材料800円を掛けて購入した。
なお、その際の引取運賃300円は現金で支払った。
2. 購入した材料を直接材料費として、製造指図書No.1に600円、
No.2に400円、間接材料費として100円消費した。
3. 貸金1,500円から預り金500円を差し引き、残額は現金で支払った。
4. 貸金のうち直接労務費として、製造指図書No.1に900円、
No.2に400円、間接労務費として200円消費した。
5. 経費900円を現金で支払った。
6. 経費のうち直接経費として、製造指図書No.1に500円、
No.2に200円、間接経費として200円消費した。
7. 製造間接費500円を一定の配賦基準を用いて、
製造指図書No.1に300円、No.2に200円を配賦した。
8. 製造指図書No.1が完成した。なお、No.2は未完成である。
9. 製造指図書No.1を3,000円で顧客へ引き渡し、代金は掛けとした。

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7.
- 8.
- 9.

原価計算表

(単位:円)

	No.1	No.2	合計
直接材料費			
直接労務費			
直接経費			
製造間接費			
合計			
備考			

材料費・労務費・経費の一連の流れ

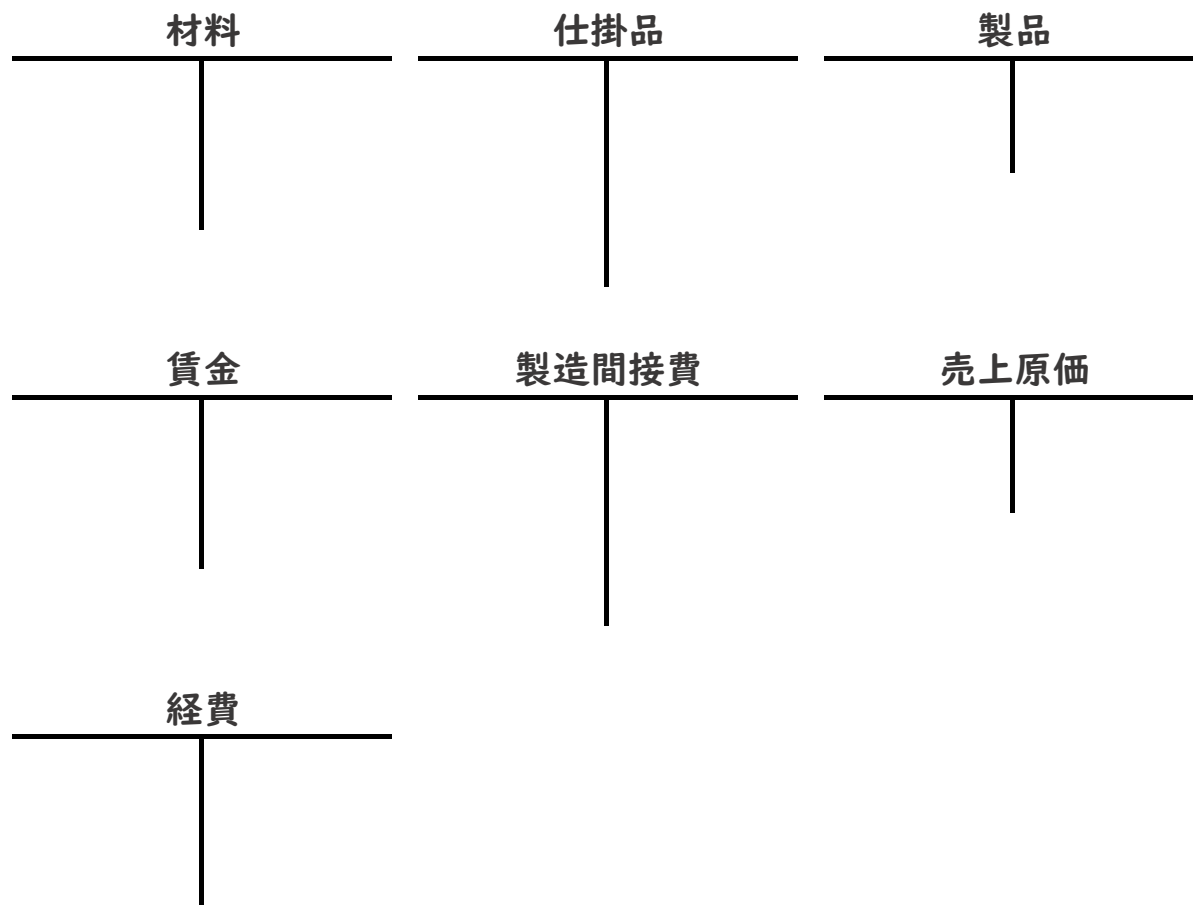
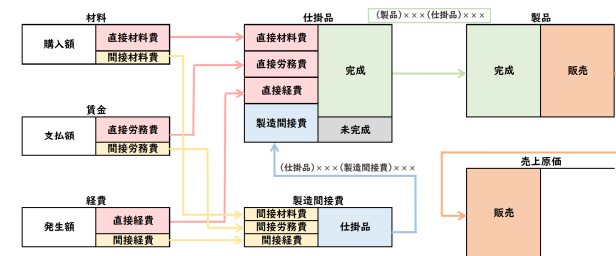
問題

下記取引の仕訳を行い、勘定への転記を行いなさい。
 なお、原価計算表の作成まで行うこと。

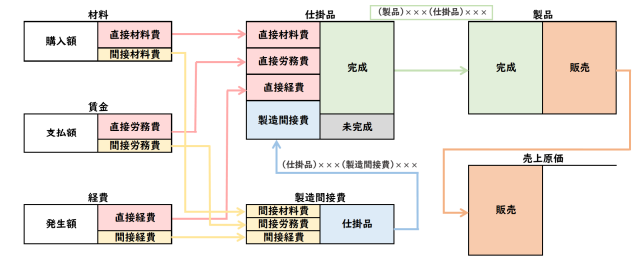
1. (材料) 1,100 (買掛金) 800
(現金) 300
2. (仕掛品) 1,000 (材料) 1,100
(製造間接費) 100
3. (賃金) 1,500 (預り金) 500
(現金) 1,000
4. (仕掛品) 1,300 (賃金) 1,500
(製造間接費) 200
5. (経費) 900 (現金) 900
6. (仕掛品) 700 (経費) 900
(製造間接費) 200
7. (仕掛品) 500 (製造間接費) 500
8. (製品) 2,300 (仕掛品) 2,300
9. (売掛金) 3,000 (売上) 3,000
(売上原価) 2,300 (製品) 2,300

原価計算表 (単位:円)

	No.1	No.2	合計
直接材料費	600	400	1,000
直接労務費	900	400	1,300
直接経費	500	200	700
製造間接費	300	200	500
合計	2,300	1,200	3,500
備考	完成・引渡済	未完成	



《まとめ》



- 材料の購入は、購入代価に付随費用を含めた（ ）で処理する
- 製造指図書をもとに（ ）で原価の集計を行う
- （ ）は工業簿記全体の流れ把握のため、必ず抑えよう♡



※この回の動画が「いいな♪」「役に立ったな♪」と思ったら、ぜひ、高評価をお願いします♡

第3回の内容お疲れさまでした♪

